

## 本時のねらい

- ・自動車会社が開発している未来の自動車についてまとめたプレゼンテーションを行うことができる。
- ・思考ツール「ピラミッドチャート」や「ベン図」、あるいはSDGsカードを使って、未来の社会に必要なのはどのような自動車なのかを考え、思考を整理することができる。
- ・自分の考えを進んで伝えることができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・未来の自動車開発について調べ、まとめたスライドを活用し、プレゼンテーションを行う。自分たちのプレゼンがそのまま「未来に必要な車はどんな車のだろう」という本時の学習課題となるため、自分事として課題をとらえ、主体的に学習を進められることがねらいである。
- ・各グループのプレゼンを吟味し、未来の社会で必要とされる自動車はどんなものなのかを考えていく際、思考ツールやSDGsカードを使うことで、重要度や優先順位が整理され、明らかな基準や根拠をもって意見を伝えることができるようになることがねらいである。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Sky Menu Classの発表ノート） ・スクリーン ・プロジェクター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現在開発されている未来の自動車について、前時までに作成したプレゼンを1人ずつ行う。</li> <li>・プレゼン後、学習課題を提示、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スクリーンにプレゼン資料を投影する。プロジェクターの電子黒板機能にあるマーカーやポインターを活用し、相手に伝わるプレゼンを意識させる。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6つのプレゼンを吟味し、一番必要だと考える自動車を考えていく。</li> <li>・【活動1】ピラミッドチャートやベン図を使い、「環境」「安全」「快適さ」のどれを自分が重要視しているのかを整理・確認させる。</li> <li>・【活動2】SDGsカードを使い、それぞれの自動車が生かしている目標のどれに関わっているのかを分析させる。</li> <li>○2つの観点で整理・分析した上で、どの自動車が未来の社会で必要とされているのか、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重要度で優先順位をつけるのであれば「ピラミッドチャート」を、それぞれの自動車が複数の要素を含むことを考えた上で配置したいのであれば「ベン図」を使用させる。</li> <li>○Sky Menu Classの「資料置き場」に思考ツールやカードを入れておき、自由に使えるようにする。</li> </ul>
まとめ(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考える未来に必要な自動車を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意見を述べる際の根拠として、思考ツールやSDGsカードの画面が使えることを確認する。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



自分の調べた未来の自動車についてプレゼンしている場面(導入)



児童それぞれが整理したピラミッドチャートを共有し、違いを見取っている場面(展開)



【活動2】のSDGsカードを操作し、思考を整理している場面(展開)

## 児童生徒の反応や姿容

「思考ツール」や「SDGsカード」を使うことで、児童は課題を多面的・多角的に見つめ、自分の考えをかためていくことができた。考えの根拠を明確にすることができたため、自信をもって自分の意見を伝えることができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

プレゼンをまとめたとして行うのではなく、課題提示の手段として行う「プレゼンから始める授業」をデザインした。それぞれが調べてきた未来の自動車を紹介し合った上で「未来の社会に必要なとされている自動車はどれ？」という課題に向き合っていくので、主体的に授業が展開していく。また、「なんとなく」で議論しないよう、「思考ツール」や「SDGsカード」で議論の観点を明確にしたり、焦点化したりした。そのおかげで「未来に必要」というあいまいな言葉に対し、具体的に、根拠を明確にしなが、議論することができた。